



梨部会



7月17日撮影
収穫前の梨



実を見極めて
摘果作業



ジョイント栽培



草刈り



鳥獣害対策

苗木を接ぎ木して連結させ、樹勢の均一化、作業の効率化を図ります

梨園の草刈りは必須。収穫前の草刈りと摘果作業は汗だくです

鳥獣害対策のための電柵や金網、ネットなどで梨園を囲っています

※部会での共販出荷は「秋麗」のみですが、その他の品種はJA菊池農畜産物市場「きくちのまんま」や、経済連の直売所「you+youくまもと農畜産物市場」などで購入できます。

『菊池梨』は、菊池市を中心に栽培され、8月の上旬から10月下旬まで品種を変えて出荷しています。品種は「幸水」「秋麗」「豊水」「あきづき」「甘太」「新高」「新興」などです。

清水と寒暖差で、
甘くみずみずしい『菊池梨』



宮川指導員



葛原部会長

気候変動や台風の襲来が心配ですが、梨の木の管理には心を配り、手間をかけて大切に育てています。

部会長 葛原 慎也

部会戸数 7戸 共販品種「秋麗」

※秋麗は、熊本経済連第一園芸集送センターより出荷しています。